

登戸学寮 ニュース

第 10 号 2021 年 5 月 10 日発行

新年度を迎えて

理事長 小島 拓人

今年一月の米国大統領就任式では Amanda Gorman さんという 22 歳のロサンゼルス生まれの黒人女性が招かれ詩を朗読しました（「ロサンゼルスタイムズ紙」1月17日）。米国史上最年長の大統領の就任式に史上最年少の詩人が選ばれ、自身の詩を朗読する機会が与えられたのです。Gorman さんは全米の最優秀詩人賞を受賞した米国では有名な詩人ですが、「2036 年の大統領選挙に立候補すると宣言済」とのこと、これもいかにもアメリカ的であります。Gorman さんの詩は米国の昨今の情勢を反映して「夜明けが来るときの闇のなかに見出す光」が主題でありました。これは 17 世紀の英国で新しい秩序が求められていた時代の詩人ミルトンの『楽園の喪失』を想起させます。

新年度を迎えての登戸学寮を取り巻く環境ですが、今回の新型コロナウイルスを契機とした大学のオンライン化の傾向は一過性のものではなく、大学教育そのものも社会全体に新しい秩序が求められている中であって、一つの転換期にあると思われまます。そして登戸学寮も大学キャンパス

のオンライン化に対応する中で昨年は黒崎先生ご召天 50 周年という節目を迎えて、大きな転換期にあることを改めて実感させられているところであります。登戸学寮はそうした時代にマッチした寮生の寮内、寮外活動の支援に向けて新規のプログラムを鋭意検討中であります。

登戸学寮の今年の 4 月期初の寮生数は 35 名(定員 39 名の 9 割)、昨年の 32 名を上回り、新型コロナウイルス禍の中で千葉寮長夫妻の下、細心ながらも力強い歩みを始めています。今年の新入寮生の特徴としましては、これまで以上の多様性が挙げられます。就学する先は 8 大学に涉り、米国籍、カナダ国籍、帰国学生も含む国際性に富み、国際弁護士、プロサッカー選手を志望する学生等それぞれが個性豊かであり、先輩の寮生諸君共々将来が楽しみであります。

今年も先行きが不透明な闇の中で「新しい光」を求めての船出ではありますが、次代の日本そして世界をになう人材を輩出すべく、学寮は理念を高く掲げ、皆様の祈りに支えられながら、粛々と本来の業務を遂行してまいりたく存じます。

特集 登戸学寮設立 60 周年記念事業ご報告

新年度を迎えて 1	寮生十色（新入寮生） 7
寮長の近況報告 2	寮生の在学大学等名 7
コロナ禍の大学・寮での生活 3	理事会・評議員会報告 8
新入寮生紹介 3	寮友会より 9
60 周年記念事業ご報告 4	コラム俳句鑑賞の手引き 11
聖書の言葉 6	寄附者ご芳名 12

仕えることと管理のあいだ

枅形山にふりそそぐおだやかな陽光と爽やかな風、当地は春の息吹につつまれています。卒寮式のあと入寮式のまえ、新しい9人の寮生を迎える準備の日々です。卒業の袴姿を近所の廣福寺の咲く桜の下で写真におさめました。2月初め、学士号取得に伴う5人の卒寮式ではオンラインのご参列も多くあり、涙あり笑いありの別れのときをもちました。個性に輝く五人組ですが、その「温か」なほんの一例を紹介しましょう。杉原千畝記念短歌会、人道大賞のI君による「世の中のいのちの数だけ朝がある茹でた卵がまだ温かい」。前途の幸いを祈りつつ世に放ちました、信じることの喜びのなかで希望に満ち溢れ、地の塩、世の光たれ、との驢(はなむけ)をそえて。



卒寮式 (2月6日)

「寮長」と呼ばれるようになり一年がすぎます。まず、支えて頂いた理事長はじめ運営母体の方々、事務・厨房の方々そして寮生諸君に感謝します。この間感染を免れ大過なく過ごせましたことを感謝します。「寮長」の第一の職務とされる聖書講義では山上の説教を三十数回共に学びました。赴任のさい、キリストにより罪贖われ救われたことを「日々ただ喜んでいよう」と心に決め、最初の講義で自分には何もできないけれど、喜んでだけはいようと思うと寮生に語り、これを共同生活の原点と決めました。黒崎幸吉先生は『永遠の生命』誌第一号(1926)「発刊の辞」にて迸る喜びを伝道の力としています。「私の心に泉の如くに湧き来たってとどめ得ないものは、救はれし者の歓喜、主イエスとともに在るの幸福、日々の祈りに於いて与へらるる力であります。かかる歓喜、かかる幸福、かかる力を自分一人で之を専らにする事は

到底出来ません。一人でも多くの人に此の喜びを分かち、共に主イエス・キリストの無限の愛を味わい度いと云ふ心が如何にしても之を厭(おさ)へる事が出来ないのであります」。アーメンです。ことあるごとに、キリストの十字架を仰ぎ、そして甦らしをそのつど信じ、掌握するに困難な甦らしをそのつど公に「告白する」(ロマ10:9)こと、それがこの喜びを引き起こします。「希望の神が、汝ら聖霊の力能のなかで希望に満ち溢れるべく、信じることにおけるあらゆる喜びと平安で満たしたまうように」(ロマ15:13)。

この喜びに立ち戻る限り、神はわたしどもでこぼこ夫婦を用い導いてくださるであろうと信じてきました。不器用な小生は「ものごとを進める」さいに妻のようにてきぱきとできません。それは仕える者へと立ち帰るべく時間を要することに一因がありましょう。それは誰の目にも明らかとなり、「寮長は美佐子さんなしにはやっていけないことが衆目の一致する見解です」と寮生さんに言われています。これに同意しつつ、「誰か妻は寮長なしにやっていけないことを知っているひとはいるかい」と問い直しますが、今のところ誰もいないようです。ともあれ、この喜びのなかいつも寮生諸君に新たな気持ちでキリストと親の愛をもって接することにより、学寮精神を伝えることができるという認識は揺らぎませんでした。

共同生活が楽しくまたトラブルを回避させる管理者としての立場から、喜びを伝えていくには、当方の生活の一切が問われています。いつも三、四人前平気に平らげるグルメ、いつも固い一物を遺す乳酸飲料+ブラシ清掃奨励者、フルで30分シャワーに浸る清潔漢、20足以上の靴愛好家、挨拶なき寡黙人、その他もろもろ、寮長はじめ寮生諸君の特徴、傾向性込みでの共同生活なのです。これはチャレンジです。キリストの権威は言葉と実践に乖離のない偽りのなさから自ずと立ち現われ、人々を惹きつけました。ただ祈る日々です、神様が聖霊の力能のなかで寮生諸君の健康を守り心を清め喜びで満たし、また当方の必要な体力と喜びを刷新し、「天に登る戸」を開き、導きの星を共に仰ぎつつ心通わせながら歩めますように。

千葉 恵

寮生に聞いた コロナ禍の大学・寮での生活

土橋奈央

田園調布学園大学人間福祉学部社会福祉学科介護福祉専攻2年

◆ **大学生活について** 入学式がなく、いきなりオンライン授業が決まったので十分な時間がとれず、戸惑いました。パソコンを持っていなかったのが急遽、近くの電気屋さんで購入しました。

科目数が多いため教科書を全てそろえることやパソコン操作、初めての履修作業にも苦戦しました。オンライン授業では、大人数の中で質問がしづらかったり、グループセッションの発言があまり出てこず意見がまとまらないことなどを経験しました。友達との交流もほとんどなかったため残念でした。

特に影響を受けたのは、介護実習でした。緊急事態宣言により、予定より3ヶ月遅れての実施や、オンラインでの実施になったりと、予定が著しく変化しました。ですが私は一つずつの授業・課題に対して自分の空き時間に納得がいくまで取り組めると感じることも多くありました。

◆ **寮生活について** 主な対策としては、共用スペースでのマスク着用、体温チェック、消毒液の

設置などが行われました。私は絶対にコロナウイルスを「持ち込まない」

「かからない」という意識で生活しました。寮生同士の交流が魅力だと

考えているのですが、大人数での食事や集まって会話をすることが減り、寂しかったです。

ですが、安定したインターネット設備があるので長時間の授業も良い環境で行うことができました。寮にいる時間が多く、自室に飽きた際も学習室で勉強するなど、自分なりに気分転換方法を考え、実行することができました。

緊急事態宣言が解除されている間は、先輩方とマスクを作成したり、ソーシャルディスタンスを保ちながらBBQや流しそうめんなど工夫しながらレクリエーションを楽しむことができました。



高校2年生の誕生日に友人にもらったクマのぬいぐるみ。このクマを見て高校時代の思い出に浸り、ゆっくり過ごしたりします。

新入寮生紹介 中村真子さん 青山学院大学文学部比較芸術学科2年

入寮課題作文「内村鑑三の『後世への最大遺物』を読み」から抜粋

今まで自分が何かを遺して死にたいと思うことはほとんどなかったが、作者の「われわれが死ぬまでにはこの世の中を少しなりとも善くして死にたい」という意見には非常に感銘を受けた。後世への遺物は自分の利益のためではなく、自分がこれまで多くの人々に助けられてきたことを今度は自分が後世に生きる人々を助けるために遺していくものであることだと気づいた。今までは誰かのために尽くすという言葉の真意を理解していなかったが、この世界が知り合いだけでなく見ず知らずの人々の善意によってより善くなっているということを考えると自分にも後世への遺物が必要であると確信した。

二つ目は、後世への最大遺物は「勇ましい高尚なる生涯」であり、これは誰でも遺すことができるということだ。私は現時点で後世に遺せる物は

なく将来的にも厳しいのではないかと感じていた。しかし、「われわれの生涯はけっして五十年や六十年の生涯にはあらずして、実に水の辺に植えた樹のようなもので、だんだんと芽を萌き枝を生じてゆくものである」という箇所を読み、自分は社会全体のある小さな一部分を担っており、その存在はたとえ小さくても全体につながっているということに気づいた。自分が何も持っていないけれども後世のために遺せることを考え探していきたい。

本書を読み、作者の後世への遺物に対する見解を知り、私はその必要性を実感したと同時に今の自分があるのはそれを遺してくれた多くの人々のおかげであると気づくことができた。より善い後世のために自分の生涯をどのように送るべきかよく考え、誠実に生きていきたい。

登戸学寮設立 60 周年記念事業ご報告

登戸学寮設立 60 周年記念事業を 2017 年 4 月に始めました。築 60 年の本館（男子棟）改修工事費用として 2500 万円を必要とし、その他寮生活動支援等のためにご寄附をお願いしてまいりましたが、皆様のご厚意により寄附目標の 3000 万円に達しました。関係者一同ここに感謝をこめてご報告申し上げます。

創設以来今日まで 62 年登戸学寮は主の恩恵はなれず、創設者のヴィジョンの導きのもとにゆっくりした進みゆきではありましたが、「天に昇る

戸」(黒崎幸吉先生)の使命を果たすべく羅針盤を一方向に向けて航海を続けてまいりました。この間皆様方のご支援、お導きから大きな力を頂いてまいりましたこと心から御礼申し上げます。

今後も学寮とのお交わりを賜りえますなら幸甚に存じます。

2021 年 5 月
公益財団法人 登戸学寮
理事長 小島 拓人
寮長 千葉 恵

60 周年記念事業収支報告 2021 年 3 月 31 日現在

I. 収入合計 募金総額	33,447,941 円
	(2017 年 4 月～2020 年 3 月 33,310,941 円)
	(2020 年 4 月～2021 年 3 月 137,000 円)
II. 支出合計 (積立金への支出を含む)	33,447,941 円
1. 特定費用準備金(寮生活動支援)への積立額	5,477,074 円
2. 60 周年誌印刷費、発送費、記念図書整備費等	1,522,958 円
3. 本館建物改修工事費(株 鹿沼への支払い額)	22,586,000 円
4. 設計・監理(前野望建築都市研究所への支払い額)	1,182,500 円
5. 排水管等高压洗浄	383,900 円
6. 食堂床張替等工事(2019 年度実施)	464,000 円
7. 食洗機	586,850 円
8. 自動水栓等工事(2021 年 3 月実施)	784,300 円
9. 食堂椅子・テーブル購入(2021 年 4 月実施)	(注) 460,359 円
(注) 食堂椅子・テーブル購入費の全額は、1,252,790 円 60 周年寄附からの支出額との差額は、2021 年度学寮予算(一般寄附)から充当	
参考 1) 1 + 2 = 7,000,032 円 (特定費用準備金計上分)	
3 ~ 9 の合計 = 26,447,909 円 (修繕等特定資産積立計上分)	
III. 残金	0 円
参考 2) III の残金(0 円)とは別に、特定費用準備金残高 4,747,355 円 上記 II の 1 の特定費用準備金積立額に受取利子(37 円)を加えた金額から下記の取り崩し額を差し引いた額 寮生活動支援費 (2019 年度) 394,000 円、(2020 年度) 335,756 円	

主な事業内容

1. 本館建物改修工事

① 耐震工事

耐震診断結果を踏まえ、耐震性を補強するため、1 階事務所と廊下の方に東西方向に、上下の梁と柱にアンカーで鉄筋を差し込み、壁に鉄筋を入れて、厚さ 20 cm、長さ 3m の鉄筋コンクリートの耐震壁を構築。

② 大規模修繕工事

屋上の防水事業、外壁塗装、シーリング打替えなど、中長期的観点からの建物補修工事。



工事中の男子寮(昨年 8 月)



工事完了（昨年9月）



コロナ対策ハイブリッドダイニング

③ 新キッチン設置

寮生が安全に安心して調理できる専用の厨房を別棟で新築。



新キッチン
男子寮アネックス

④ エアコン設置

長年暑さ対応の懸案であった食堂の空調を設置。併設する多目的室にも波及効果。

2. 設計・監理

前野望建築都市研究所によるキッチン等の設計、工事全体の監理。

3. 排水管等高压洗浄

劣化による詰まり、水漏れ、汚臭を解消。

4. 食堂床張替等工事

厨房の防水、食堂の床張替工事（2019年度に先行実施）。

5. 食洗機

耐用年数 10 年とされる厨房の食洗機につき、劣化に伴う更新。

6. 自動水栓等工事

新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、自動水栓による手洗いの励行を可能とする設備の導入。

7. 食堂椅子・テーブルの購入

老朽化した食堂椅子・テーブルをデザイン・機能性に優れた椅子・テーブルに割安価格で全面更新。

8. 寮生活動支援（基金への積立て）

寮生が国内、海外の研修その他自己研鑽に資する活動の費用の一部を支援するため、特定費用準備金への積立を行い、毎年計画的に取り崩して当該経費に充当。

〔備考〕60周年寄附以外の財源（一般寄附を含めた事業収入）から充当された60周年工事関連経費

1. 耐震の予備診断費及び2次診断（2016年）
1,080,000円
 2. 耐震補強設計費（2016年）及び現地調査・設計費（耐震工事変更設計、防水、外壁等調査）（2018年）
982,800円
 3. 寄付金振込手数料等各種手数料（2017～2020年度）
147,301円
 4. 食堂椅子・テーブルの全面更新（一部充当）（2021年4月見込）
792,431円
- 上記1～4の合計：3,002,532円

なお、60周年記念事業の展開の一環として「黒崎幸吉記念表彰」の制度を検討する検討委員会を立ち上げ、今年のホームカミングデーを目途に実現すべくその実行プランの概要をまとめ、次号にご報告の予定です。

今年度は総勢35名が礼拝をし、食卓を共にし、時に勉強机となり、時にゲームの場となる食堂に新しいテーブルと椅子がやってきました。密な場にならざるを得ない食堂ですが、テーブルの配置を工夫し、空気清浄機を導入し、天気の良い朝には中庭まで食卓を広げ、制約の中での感染予防ではなく、食堂としての空間の可能性を最大限に追及しています。飛沫遮蔽シートも寮長、寮生自らの手で設置作業検討中。
千葉美佐子

聖書の言葉 福音 一新しい酒は新しい革袋に一

イエスは山上で野の百合、空の鳥を眺めつつ「天の父の子となる」べく人間、自然、天国一切を秩序づける(Mat.ch.5-7)。イエスは「律法」と呼ばれる神の意志を一つの体系のもとに捉え、その軽重を判別している。「ああ、汝ら十分の一税を奉納するが、律法のより重要なもの、公正と憐みと信を蔑ろにしている」(23:23)。ここで信・信仰は一方認知的には見知られていないものごとを真理と判断する信念であり、他方人格的には一切の正しく憐み深い行為に浸透する心魂の幼子の信頼である。人間的には認識に関わる信は賢者にまで、人格に関わる信は聖者にまで至るが、創造者には一切が明らかであり認知的、人格的に「完全な」父の前ではありのままが相応しい(5:48,19:13)。「信に基づかないものごとはすべて罪である」(Rom.14:23)。

イエスは不可視な神に向かうこの根源的な心魂の態勢である信により義と愛を秩序づけた。パウロは「神の子の信」の従順を貫いたイエスが神に嘉みされ、甦らされ罪と死に勝利したことから、その信の生涯を介して啓示された神の意志を「信の律法」と呼び、それが「業の律法」と呼ばれるモーセの十戒の業の義を満たすと展開した(Gal.2:20,Rom.3:26)。業の律法の「冠」である愛は「義の果実」即ち「信に基づく義」の産物であり、先述の「より重要な」戒めは信→義→愛に方向づけられる(10:6,13:9,Phil.1:11)。

神はイエスの死に至るまでの信の従順を嘉みし、罪なきことの揺るぎない認識の故に御子に「身代りの罪」と呼ばれうるものを担わせた。「神は罪を知らざる方をわれらの代わりに罪と為した、それはわれらが彼において神の義となるためである」(2Cor.5:21)。この父と子協働による信義に基づく贖罪は業の律法のもとでの代罰ではない。「彼はわれらの背きの故に引き渡され、義とすることの故に甦らされた」(Rom.4:25)。身代わりの死に伴う甦りは永遠の生命への信を促し、信じる者を義とするためである。「一度限り」の掌握困難な甦りは「主イエスを告白し…甦りを信じる」信により突破するしかなく、公に信じうることでそれ自体が喜びとなる(6:10,10:9)。

御子がダビデ等業の律法に照らしてあらゆる罪を犯す人類すべての身代わりとなりその罪を

担いえたのは御子の「愛を介して実働する信」の力能の故である(Gal.5:6)。偶像崇拜を介した自己神化は十字架上で「古き人」の罪として処分され「共に磔られた」(Rom.6:6)。神は「彼らの背きを彼ら自身において考慮することなく」、罪を赦しうる御子の身代わりの愛において考慮し、神の前では既に和解(水に流すこと)が成立している(2Cor.5:19)。これが福音である。

イエスは偽りなき言葉と働きの合致において福音を実現しつつ、権威をもって信仰に招いた。「汝らの天の父はご自身を求める者に善いものをくださる」。最善である神ご自身こそ一切の善の源である。「まず神の国とご自身の義を求めよ、そうすればこれらすべて[必要な衣食]は汝らに加えて与えられるであろう」(Mat.7:11,6:32-33)。神との正しい関係を造る信への招きは一切を秩序づける。歴史は心情倫理と責任倫理をわけて、後者から社会の秩序を守る制度を充実させてきた。衣食について「煩うな」、「裁くな」、「左頬も向けよ」は経済や文化を停滞させ、司法や正当防衛を不可能にするため、個々人の心の在り方としては賞賛されても、統治者たちは山上の説教を拒否してきた。しかしこれは一つのものとして働くひとの心と身体を分断するものであり、心なき制度化、形式化がはびこり、ひとの良心はこの二心に満足できない。イエスとの共知(con-science)においてわれらの良心は宥められ、その心によって清き者となり平和を造る者となる。

イエスは娘の治癒を願うカナンの女性に「イスラエルの失われた羊にのみ」遣わされたと告げると、「主よ、そのとおりです、というのも子犬は主人の食卓から落ちるパン屑を食べるからです」との応答に彼は感動し、もはや旧約の伝統に留まらなかった(15:21-28)。異邦女性の信仰は義とされその義の果実として娘は癒された。新しい酒は新しい革袋にいれなければ、破れてしまう。あまりの福音、あまりの生命の故に、彼の憐みは泉の如くに迸りである。業の律法への尊敬のもと、それを純化するご自身の生涯のただなかで、旧約は内側から破られてしまった(5:18)。業の律法は新たな光のもとに遵守される、恐れを取り除く愛において。

千葉 恵

寮生十色

登戸学寮には個性豊かな若者が集います。春を迎え、新たなスタートを切った新入寮生（昨年度途中入寮生3名、今年度新入寮生9名）に下記について聞いてみましたので紹介いたします。

氏名（出身地）
 ①学生生活もしくは寮生活の抱負
 ②座右の銘もしくは好きな言葉



入寮式（4月11日）

なお、氏名下の線は好きな色、文字は好きなフォント、☆は昨年度途中入寮生です。

男子寮 5名

Quant, Robert Seth ☆
 (Oklahoma, USA)

- ① Hebrews 11:6, Without faith it is impossible to please God, because anyone who comes to him must believe he exists and that he rewards those who earnestly seek him.
- ② Faith

塩見 楽 ☆
 (カナダ プリティッシュコロンビア)

- ① 健康第一
- ② I've failed over and over again in my life. And that's why I succeed.

川口陽久 ☆ (大阪府)

- ① 治安維持
- ② 人生は冒険や！自由に生きろ！死んだらアカン！

横山 瑠泉 (北海道)

- ① サッカーと勉強を両立できるようにがんばっていきます。
- ② 一年後の成功を想像すると日々の地道な作業に取り組むことができる。

女子寮 7名

松井花音 (静岡県)

- ① 心に残る寮生活をしたい
- ② 不撓不屈

米村那穂 (東京都)

- ① 友達をつくること
- ② 十人十色

善方枝美華 (福島県)

- ① 周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに生活したい
- ② 変えるにはリスクが伴う。変えなければもっと大きなリスクが伴う。ジョン・ヤング

西巻未祐 (宮城県)

- ① 全てにおいて全力をつくす
- ② 今日一日だけを生きる

中村真子 (長野県)

- ① 規則正しい生活を送りたい
- ② 塞翁が馬 『淮南子』人間訓

石井友菜 (静岡県)

- ① みなさんと楽しくすごしたい
- ② 千里の道も一歩から

大城あい (沖縄県)

- ① 多くの人との出会いを大切に、何事にも一生懸命努力します。
- ② 現状維持は停滞ではなく後退である。

寮生の在学大学等名 (50音順) 太字は今年度新入寮生

男子寮 (20名)	女子寮 (15名)
桜美林大学リベラルアーツ学群、慶応義塾大学商学部、 国土舘大学 21世紀アジア学部 、成城大学経済学部、聖マリアンナ医科大学医学部、専修大学ネットワーク情報学部 (1名) 文学部 (2名)、玉川大学大学院農学研究科、田園調布学園大学人間福祉学部、東京農業大学大学院国際食料農業科学研究科、日本大学危機管理学部、HAL 東京、PAZ Bible College、文化服装学院ファッション工科専門課程ニットデザイン科、明治大学農学部、 明治大学理工学部 (新寮生1名、在寮生1名)、明治大学大学院理工学研究科、和光大学現代人間学部	青山学院大学文学部、慶応義塾大学法学部、恵泉女学園大学人文学部、昭和音楽大学音楽学部、昭和音楽大学短期大学部、成城大学大学院文学研究科、 聖マリアンナ医科大学医学部 、専修大学経済学部、玉川大学農学部、田園調布学園大学人間福祉学部、 東京家政大学家政学部 、日本女子大学人間社会学部、 明治大学農学部 、 明治大学理工学部 、明星大学人文学部

理事会・評議員会 報告

理事会、評議員会の開催

公益財団法人登戸学寮の定例理事会及び評議員懇談会は2021年3月13日(土)午後2:00~4:20にZoom会議形式で開催されました。以下に主要議事内容について報告します。

1. 2021年度事業計画及び予算

1) 2021年度事業計画と共に、別表の通り、新年度予算が承認されました。

2) 事業計画について

聖書講義(年35回)、講演会(初冬)、ホームカミングデー、「方舟」編集刊行、スポーツ・レクリエーション会、寮生活活動支援、入寮式・卒寮式、防災訓練、寮生大会2回、クリスマス会などの諸行事と共に、本年からの新しい試みとして、予算の裏付けとなる事業方針と施策を追加することとして、新型コロナウイルスへの対応、中長期的な寮事業計画の策定、寮生確保の中期目標(35名を努力目標)、寄附金と連動した寮外活動の実施等が盛り込まれました。

3) 事業活動収支について:

収入面では、①寮生数を保守的に見積もって年間平均31名、②寮費(約2,500万円、コロナ禍における寮費減免措置を含む)、③寄附金収入(300万円)、支出面では、④人件費総額約880万円、⑤賄い材料費(320万円)、⑥オンライン化等による節減等を見込みました。この結果、建物再建積立金(370万円)を含む投資的経費を差し引いた当期収支は、100万円余の黒字となります。なお、来年度、食堂の椅子・テーブルの更新費については、指定寄付と合わせて60周年記念寄付残高を充当する方向です。

2. 特記事項

1) 「黒崎幸吉記念キリスト教講演会」の今後の対応について

「黒崎幸吉記念キリスト教講演会」は黒崎幸吉先生のご召天(1970年6月6日)後に第1回の記念講演会を開催し(1971年6月13日)、その後毎年6月に開催してきました。そ

して昨年は黒崎先生ご召天50周年を記念する第49回の記念講演会となる予定でしたが、新型コロナウイルス禍への対応により、「方舟」誌面での開催としました。

今後の対応としては、黒崎先生ご昇天50周年を一つの節目として新しい展開を図ることとし、従って今年6月の講演会は行いません。記念講演会に代わる行事については、11月のホームカミングデー頃までに確定してお知らせいたします。行事の候補としては新形式の講演会や各種寮生支援活動の成果報告会、また黒崎幸吉記念表彰等を候補対象として検討中です。

2) 定款の変更

評議員の定数について、若手評議員の強化の観点から「8名以上15名以内」を「12名以上20名以内」に改正するとともに、基本財産(第5条関係)について、実測値に合わせるため、建物面積を変更。

3) 主な内規の整備

- ① 入寮時の新たな契約書・誓約書の作成(退寮時の部屋のクリーニング費を明示、連帯保証人の保証極度額の設定等)
- ② パート職員を含めた職員賞与規程及び「賞与水準及び支給基準等について」の策定。
- ③ 特定資産及び特定費用準備金取扱規程について、60周年記念事業の完了に伴い、規程の目的、積立期間、積立額等について改正。

4) 寮生活活動支援報告

従来の実績をふまえ海外・国内の寮生活活動募集を行うにあたり、募集要項・予算等を検討するため作業部会(WG)を立ち上げました。該当者は「方舟」に成果報告するとともにホームカミングデーに発表する等の案を検討中。2020年度の寮外活動は以下の2件です。

- ・ **青野 道** 昭和音楽大学短期大学部声楽コース「公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団主催第5回日本歌曲コンクール」参加
- ・ **山田聖義** 文化服装学院ファッション工科専門課程岩手県にある「ホームスパン(home spun)の工房」と「手紡ぎと草木染工房」訪問

2021年度(令和3年度)予算(収支ベース)

2021. 3. 31

(単位:円)

科目	(A)		(B)		(A)と(B)の差異	備考
	2020年度予算額	2020年度実績予測額	2021年度予算額			
I 事業活動収支の部						前年度実績予測を反映
事業活動収入						
基本財産運用収入	0	0	0	0	0	
基本財産受取利息収入	0	0	0	0	0	
入寮費収入	2,100,000	2,250,000	1,050,000	-1,050,000	入寮費:15万円	
入寮費収入	2,100,000	2,250,000	1,050,000	-1,050,000	新入寮生7名	
寮費収入	23,840,000	22,374,000	25,050,000	1,210,000	期初32、下期30名(留学生2)	
寮費収入(寮料)	14,100,000	14,100,000	15,140,000	1,040,000	4.2万×31×12-4万×12	
寮費収入(食事代)	5,220,000	3,800,000	5,080,000	-140,000	2万×31人×9か月	
共益費等寮生徴収金	4,520,000	4,440,000	4,830,000	310,000	1.3万×31人×12か月	
短期宿泊料収入	0	34,000	0	0	コロナによる減免50万円	
寄付金収入	2,500,000	6,456,500	3,000,000	500,000		
寄付金収入(一般)	2,500,000	6,000,000	3,000,000	500,000	最近の動向を反映し増額	
寄付金収入(60周年事業)	0	150,000	0	0		
特別寄付金収入	0	210,000	0	0		
その他寄付	0	96,500	0	0		
雑収入	66,000	42,000	45,000	-21,000		
受取利息収入	16,000	7,000	5,000	-11,000		
雑収入	50,000	35,000	40,000	-10,000		
特定費用準備金取崩収入	500,000	430,000	500,000	0	寮生活動支援に充当	
事業活動収入計	29,006,000	31,552,500	29,645,000	639,000		
事業活動支出						今年度実績予測の反映
人件費	9,150,000	10,280,000	8,760,000	-390,000	寮長・職員給与、雑給、賞与計	
退職給付支出	0	0	0	0		
福利厚生費	1,000,000	800,000	900,000	-100,000	寮長夫妻社会保険料等	
福随材料費	3,300,000	3,300,000	3,200,000	-100,000	コロナ減免の際の節減努力	
役員会開催諸費	300,000	100,000	100,000	-200,000	オンラインの利用による節減	
会議費	50,000	10,000	30,000	-20,000	同上	
パトロール交通費	270,000	290,000	270,000	0	実績予測反映	
寮生福利厚生費	80,000	100,000	80,000	0		
寮生生活活動支援費	500,000	50,000	550,000	50,000	特定費用準備金(50万円)	
寮生指導費	50,000	0	50,000	0	及びいかにレース等(5万円)	
寮旅費交通費	50,000	3,000	50,000	0		
車両運搬費	0	0	0	0		
通信運搬費	1,300,000	550,000	600,000	-700,000	60周年完了等により減額	
消耗品費(厨房関連)	150,000	210,000	150,000	0		
消耗品費(厨房以外)	150,000	290,000	150,000	0		
事務用品費	250,000	130,000	250,000	0		
消耗什器備品費	300,000	300,000	300,000	0		
修繕費	500,000	500,000	500,000	0		
印刷製本費	700,000	700,000	700,000	0	学寮ニュース送付代等	
印刷費	450,000	500,000	550,000	100,000	印刷代の増加	
講演会等諸費	450,000	30,000	100,000	-350,000	コロナ禍による減額	
電気代	1,200,000	1,400,000	1,400,000	200,000	食堂空調等により20万円増	
ガス代	700,000	700,000	700,000	0		
水道代	550,000	550,000	550,000	0		
灯油代	50,000	100,000	100,000	50,000	コロナ禍での費用増	
諸謝費	50,000	0	50,000	0		
広報費	1,200,000	1,400,000	1,200,000	0	がくる一む、毎日コムネット等	
図書費	30,000	0	30,000	0		
防災費	250,000	110,000	250,000	0		
災害報酬料	850,000	1,110,000	1,100,000	250,000	税理士、社労士等	
租税公課	500,000	500,000	500,000	0	建物損害保険料	
新聞図書費	350,000	370,000	350,000	0	固定資産税ほか	
諸会費	50,000	50,000	50,000	0		
支払手数料	60,000	56,000	60,000	0	日独協会、町内会費	
支払手数料	150,000	140,000	150,000	0	入金手数料、振込手数料	
支払手数料	320,000	400,000	320,000	0	監視カメラ、コピー機等	
雑費	300,000	700,000	500,000	200,000	コロナ禍のアルバイト代も含む	
事業活動支出計	25,610,000	25,729,000	24,600,000	-1,010,000		
事業活動収支差額	3,396,000	5,823,500	5,045,000	1,649,000		
II 投資活動収支の部						
投資活動収入	25,000,000	25,539,250	300,000	-24,700,000		
修繕等特定積立資産取崩収入	25,000,000	25,539,250	300,000		下記備品のための取り崩し	
基本財産定期預金取り崩し収入	0	0	0			
投資活動支出	28,700,000	29,239,250	4,300,000	-24,400,000		
特定資産取得支出	3,700,000	3,700,000	3,700,000	0		
建物再建特定積立資産取得支出	3,700,000	3,700,000	3,700,000	0	再建積立計上	
修繕等特定積立資産取得支出	0	0	0	0		
特定費用準備金取得支出	0	0	0	0		
固定資産取得支出	25,000,000	25,539,250	600,000	-24,400,000		
建物取得支出	25,000,000	24,152,400	0	-25,000,000		
建物付属設備取得支出	0	800,000	0	0		
什器備品取得支出	0	586,850	600,000	600,000	備品の更新(食堂椅子等)	
投資活動収支差額	-3,700,000	-3,700,000	-4,000,000	-300,000		
III 財務活動収支の部						
財務活動収支差額	0	0	0	0		
IV 予備費支出	0	0	0	0		
当期収支差額	-304,000	2,123,500	1,045,000	1,349,000	100万円以上の余裕見込	
前期繰越収支差額	6,941,353	6,941,353	9,064,853			
次期繰越収支差額	6,637,353	9,064,853	10,109,853	3,472,500		

登戸学寮 寮友会 より

本会は男女や在寮期間を問わず原則として学寮生活を経験した卒寮生で構成され、創立者黒崎幸吉先生の登戸学寮建寮の趣旨を尊重し、会員相互の親睦と在寮生との交流、支援等を行うとともに、登戸学寮が末永く存続し続けるために必要な諸事業を支援することを目的として活動しています。

■ 寮友会名簿（卒寮生名簿）について

卒寮生の皆様の住所等については「方舟」「登戸学寮ニュース」をお送りするための住所録を、学寮内に個人情報として保管していますが、それとは別に、寮友会として会員配布用の名簿を、以前に作成・配布していました。

しかしながら 2017 年以降、個人情報保護法が同窓会名簿等にも適用されることになりました。このため卒寮生名簿については、個人情報保護法の遵守を前提に、相互の親睦の観点から、以下の通り整備を図っていきたく考えます。なお、まずは電子メールご利用の方について整備した上で、紙ベースの対応をいたします。

- ① 掲載する基本的な情報は、氏名、入寮年、住所、E mail アドレスとします。
- ② 掲載・配布の対象は、以下の事項について同意した方に限定します。－「上記①の情報を名簿に掲載すること」「配布された名簿を、盗難・紛失・売却等をしないよう、適切に管理すること」
- ③ 作成事務は寮友会の担当（岸本尚毅 1980 年入寮）が行います。

★ 名簿への同意についてご連絡のお願い

寮友会名簿への掲載について「同意」される方は、専用メールアドレス宛に、氏名と「名簿掲載に同意する旨」を書き送って下さいますようお願いいたします。6 月末日までにご連絡頂きますと幸甚です。

専用メールアドレスは以下の通りです。

gakuryomeibo@gmail.com

■ 寮友会入会のお誘い

社会に出て仕事やその他社会、経済、家庭の各

面の活動に全力投球しておられる卒寮生の皆さんに、さらに学寮のために時間とエネルギーを割いてくれとはお願いし難いのですが、ある程度余裕ができた方には寮友会の会員になられるよう、お誘いします（年会費 2 千円）。学寮の役員や寮友会の役員の中には現役で活躍している卒寮生もおられ、心から感謝しています。また、多忙な現役時代には学寮から遠ざかっていた卒寮生で退職後に寮の支援をしている人も何人もいます。そのような直接的な支援に限らず、卒寮生がお一人で、或いは寮生活を共にした仲間を誘って在寮生や学寮運営に対し、多少とも寄付などでバックアップすることにも意味があるのではないのでしょうか（なお、当然のことながら、寮友会に入会しなくても、登戸学寮には自由に寄付ができます）。

■ 10 年前のこと（学寮六十年誌より）

今年東日本大震災（2011 年 3 月 11 日）から 10 年目です。当時の在寮生は全員が OB・OG となっています。大震災にかかわる記事を『登戸学寮六十年誌』（2018 年 11 月刊）から拾います。寮長は小舘美彦さん。寮年表に「2011 年 5 月 寮生有志が東北の被災地でボランティアに参加」とあります。また、2011 年 6 月 5 日の黒崎幸吉記念講演の演題に「永井和子 新しい人の誕生一天変地異と日本」とあります。こればかりでなく、実家が被災した寮生もいたことなどが当時の記録からうかがわれます。

■ 寮友会会長の交替

昨年 11 月の総会を以て、会長が榎田俊明さん（1964 年入寮、現在登戸学寮理事）から、石川光さん（2003 年入寮、現在登戸学寮評議員）に交替しました。榎田さんお疲れ様でした。

コラム 俳句鑑賞の手引き

俳人（学寮OB） 岸本 尚毅

今回は室生犀星に触れました。犀星の一種の「通俗性」を示すエピソードを、今回は、昭和の俳句史から拾ってご紹介します。

『俳句研究』という雑誌の昭和九年四月号に、日野草城（ひの・そうじょう）という俳人が「ミヤコ・ホテル」という作品を発表しました。「けふよりの妻と来て泊つる宵の春」「枕辺の春の灯は妻が消しぬ」「夜半の春なほ処女なる妻と居りぬ」「をみなとはかかるものかも春の闇」「薔薇にほふはじめの夜のしらみつつ」「うらかな朝のトーストはづかしく」「永き日や相触れし手は触れしまま」「失ひしものを憶へり花雲」などの草城作品が池田市のウェブサイトに掲載されています（池田市に住んでいた草城は、同市ゆかりの文学者とみなされているのです）。

「ミヤコ・ホテル」は新婚初夜を詠んだもので、ほぼ九十年前の作品です。この作品は俳壇の重大事件となりました。草城は京都帝大を出て住友海上に勤め、当時の俳壇の主流の「ホトトギス」の俊英でした。俳壇のプリンスであった草城ですが、伝統的な俳句に飽き足らず、このような赤裸々（しかしステロタイプの）な作品発表に及んだのでした。その後、草城は「ホトトギス」から除名されます（同時に、田辺聖子の小説の主人公として知られる杉田久女も除名）。俳壇では草城バッシングの嵐が吹き荒れまじった。その中で草城擁護の論陣を張ったのが、誰あろう室生犀星だったのです。犀星は「俳句は老人文学ではない」という一文を『俳句研究』昭和十年二月号に寄稿し、「ミヤコ・ホテル」の正味は今日に於ては明瞭に俳句精神が老年者の遊び文学でなかつたことを意味するのである」と草城にエールを送りました。

これだけなら俳壇の事件に、文壇の名士である犀星がちよっ

かいを出したというだけの話ですが、犀星の句集を読んでいると面白いことに気づきました。昭和十年六月刊の『犀星発句集』にこんな句が載っています。「かゝる瞳は処女ならむか夜半の冬」「冬の夜を冴えし瞳と居りにけり」「うつくしくもいやしき女なれ夜半の冬」。当時四十代後半だった犀星は、草城の「ミヤコ・ホテル」に触発されてこんな句を詠んだのかもしれない。さらにそこで、生涯会うことなかった実母への憧憬が絡んで「うつくしくもいやしき女なれ」が生まれたのかもしれない。「夏の日の匹婦の腹にうまれけり」の「匹婦」が「うつくしくもいやしき女」に転じたのです。「かゝる瞳は処女ならむか」は草城の「なほ処女なる妻と居りぬ」と同程度に通俗的です。大詩人犀星は、臆面もなく、このような通俗的なことが言える人だったのです。

おしまいに、以前に取り上げた芥川龍之介と犀星との遊び心のあるエピソードを拾っておきましょう。『犀星発句集』には、龍之介の「風呂桶に犀星のゐる夜寒かな」という句が載っています。これを発句とし、その脇の句として、犀星が「ふぐりをあらふ哀れなりけり」を詠み添えています。龍之介を客、犀星を主とする俳諧の連句にしたのです。龍之介の句は大正十三年、両人が軽井沢で親交を深めたときの作です。

俳句の鑑賞というと季語がどうした、切れがどうしたと学校で教えるのでしようけれど、前回と今回は、作品の背景にあるエピソードからアプローチする鑑賞のしかたをご紹介します。

（次回に続く）

ご支援へのお礼とご報告

昨年度後期（8月から3月）に賜りました学寮へのご厚意誠にありがとうございます。尋常ならざる日々のなか、学寮を御心に覚えていただき心から感謝いたします。ここにご芳名を記して御礼申し上げます。

寄附者ご芳名（一般寄附および60周年特別寄附）

2020年8月1日から2021年3月31日まで（敬称略）

注1. 個人208名（内、匿名3名）・13団体、総件数285件 注2. 60周年特別寄附4名・1団体を含む

（個人）208名

青木幹夫、浅野攝郎、當好二、新井明、荒木清志、有賀実男、飯田順朗、石川嗣郎、石川知生、市場正、市村昭三、井藤聡、伊藤康子、伊東裕二郎、稲永丈夫、井上眞一・真理、岩沙克次、岩田堯、岩田里美、上田明子、内坂建、内田祥子、越智好、遠藤基子、大内信一、大川四郎、太田源左衛門、大谷陽・翠、大友浩、興津修司、奥田信夫、小畑太作、恩田美和子、蔭山和代、籠屋公夫、笠原千恵子、風間文子、片倉敬輔、加藤健一・理恵、上遠野浩樹、金井守、金子幸子、河辺たづ、菊池美知子、岸本尚毅、岸本由美、北村寛、木下智雄、木村護郎クリストフ、木村直子、木村秀夫、清永丈太、金城清、金城もも、榎田俊明、久保靖彦、熊川忠、倉石重造、栗栖真理、黒崎光子、黒崎稔、黒崎留己子、幸野道雄、小河原貞一、小島拓人、小館美彦、兒玉實英、兒玉伸彦、小西孝蔵、小西宏明、小西淑子、木幡藤子、小林緑、齋藤周平、笹井岩男、佐々木栄一、佐々木滋、笹生義美、佐竹明、佐竹好光、佐藤勝輝、佐野好則、島創平、白井徳満、白石光一、白方誠彌、白方勇一、白崎良二、新宮眞、菅沼勝子、杉田敬一、鈴木健司、鈴木康平、鈴木守、鈴木喜晴、須藤浩一郎、鷺見誠一、鷺見八重子、莊保達雄、副島茂、副島浩、

高岡健二、高木博義、高崎亘代、高田暁治郎、高田秀樹、高橋照男、高橋由典、高松均、高山久郎、武井陽一、竹内朝日郎、竹内栄理、竹内弘之、武田久美子、多田義国、田仲達雄、谷口舞、丹野武宣、千葉彌平、月岡信裕、月本昭男、土屋泰次、綱野真知子、徳光猛、床宿祐子、富井直子、富永尚、豊田江美、永井和子、中村節子、中村真理子、名取克也、西永頌、西野勝、西村真、根本泉・道子、野崎寧、野々瀬協子、野々瀬浩司、羽賀道信、薄氷、橋内武、花房雅子、早川真、原研治、坂内宗男、日暮眞、秀村研二、平井国雄、福岡和子、福島穆、福田由美子、藤澤茂登一、藤田ナツ子、藤原國士、古角隆、星野光利、細貝昭吾、本田圭、本田文、増田高子、松井正人、松浦宏允、松尾睦、松永富雄、丸山信子、三浦永光、三関祐二、三田洋子、光石佐与、三矢恵津、三矢尚、三宅順子、三宅美枝子、宮崎修次、宮崎裕明、武藤陽一、森秀人・義之、森山浩二、安田裕、矢田部千佳子、矢野那奈子、山川暁、山岸章、山口明美、山口清三、山田章博、山本和宏、山本鐵子、山本浩、横内信子、横内正雄、吉澤壽樹、吉村薫、李善利、若井晋、我妻耕一、鷺崎安久、鷺田伸明、匿名3名

（団体）13件

あだたら聖書集会、浦和キリスト集会、大阪聖書研究会、国立聖書研究会、千葉聖書集会、天神聖書集会、徳島聖書キリスト集会、那覇聖書研究会、浜松

聖書集会、阪神聖書研究会、福岡聖書研究会、無教会新宿集会、山形聖書集会

以上

【編集後記】

開寮当時より使用されてきた食堂のテーブル8脚がこの度役目を終えました。長い間、多くの寮生がそのテーブルで食事をとり、友と語り合い、聖書を広げてきました。今後何らかの方法で使用する予定です。

登戸学寮ニュースは普通紙ではなく光沢紙を使用し、印刷をネット注文することにより大幅にコストを抑えております。お楽しみいただければ幸いです。（C.O）

公益財団法人 登戸学寮

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区栞形 6-6-1

☎ 044-933-0819 ✉ noborito@gakuryo.or.jp

発行人 小島拓人

編集委員 千葉 恵、千葉美佐子、鷺見八重子、

岸本尚毅、大谷 恵、早川 嗣、織田千尋

発行日 2021年5月10日